

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
保健体育	保健体育	東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当や心肺蘇生法の技能に関する実習のページは、意義や方法を簡潔に示すとともに、写真やイラストを用いて、手順を分かりやすく理解できるよう配慮されている。 ・「活用する」では、習得した知識・技能を活用して、より深く考え、他者に説明したり、話し合ったりする活動ができるよう配慮されている。 ・章末に、今日的な教育的課題にかかわる資料を掲載しており、生徒が学びを深め、広げる配慮が大変充実している。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」では、日常経験などから自他の課題発見につながる発問が設定しており、生徒が主体的に課題解決に取り組むことができるよう十分配慮されている。 ・「課題の解決」では、内容のまとまりごとに発問が設けられており、生徒が資料などを主体的に読み解けるよう十分配慮されている。 ・「感染症の予防」では、動画やシミュレーションなどデジタルコンテンツが用意されており、生徒が家庭でも自分の生活と関わらせて考えていけるような工夫が見られる。 ・章末資料が豊富に配置されており、生徒が授業で学習した後、家庭において知識の理解度を高めるための工夫が充実している。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動やスポーツと食事」「体育活動中の事故」「スポーツにおけるドーピング」などを取り上げることで、体育分野と保健分野の関連が図られている。 ・様々な年齢の人たちが、障がいの有無や国や民族を超えて運動を楽しんだり、運動にかかわったりする様子を掲載するなど、生徒自身に生涯にわたってスポーツに関わり、その楽しさを味わおうとする意欲がわくよう十分配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインの観点から十分配慮されている。 ・総ページ数が201ページで、重量406gと最も軽い。 ・表紙には汚れにくく防水効果、強度を高める加工がされ、3年間の使用に耐えられるよう十分配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・本文では「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップが学習の流れに沿って配置されており、生徒が主体的・対話的で深い学びができるよう十分配慮されている。 ・総重量がとても軽く、持ち運びに負担が少ない。 ・章末資料が豊富に配置されており、生徒が家庭において知識の理解度を高めるための工夫が充実している。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
保健体育	保健体育	大日本図書

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の手順について、「流れ」と「方法」をページの上下段分け・見開きにて掲載することで、生徒にとって大変分かりやすく示されている。 ・「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」などの様々な表記の工夫により、生徒に思考力・判断力・表現力等が育成されるよう十分配慮されている。 ・章末には「学びを活かそう」が位置付けられており、生徒が授業後により深く考えられるよう配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・導入に「つかもう」として、日常生活から想起させる工夫があり、学習の見通しをもたせる配慮が十分されている。 ・様々な場面の写真と現代的なテーマの口絵を掲載することで、生徒が保健学習の重要性を理解し、主体的に学習に取り組むよう工夫されている。 ・生徒が家庭や地域において学んだことを活用できるよう「家」「地域」マークを付けたり、他の単元での学びとつなげられるよう「リンク」マークを付けたりするなどの工夫が見られる。 ・「活用して深めよう」によって、自分たちでできることをまとめることで、生徒が家庭においても実践できるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動と健康」では、年齢や生活環境に応じた運動を取り上げる工夫をするなど、体育分野と保健分野の関連を図っている。 ・障がいのある人が運動をしている様子を写真で紹介することで、生徒が障がいに応じた運動との関わり方を考えられるような工夫が大変充実している。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙は丈夫で汚れにくいコーティングを施し、3年間の使用に耐えられるよう配慮されている。 ・読みやすい位置での改行に配慮するとともに、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・総ページ数は191ページ、重量は432gであるが、横幅が他者よりマイナス1cmと最も小さい。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のねらい」から「話し合ってみよう」「活用して深めよう」までの主体的・対話的で深い学びをすることによって、生徒が主体的に知識や技能を身に付けられるよう十分配慮されている。 ・見開きのページに心肺蘇生法の手順を示すことで、生徒が全体の流れをつかみやすくなり、技能を身に付させるための工夫として、充実している。

様式2

教 科	種 目	発 行 者
保健体育	保健体育	大修館書店

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・保健分野の実習では、多くの資料やグラフが掲載されたり、「技能ポイント」が端的な言葉で示されたりしてあり、生徒が理解しやすいよう配慮されている。 ・終末の発問では、学習内容を活用した具体的な場面が提示され、生徒が考えをより深めるための配慮がされている。また、生徒が学習した内容をさらに広げたり深めたりすることができるよう「クローズアップ」が位置付けられている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・導入では、「課題をつかむ（やってみよう）」で日常生活を振り返る発問があり、生徒の学習意欲を高めるとともに、自他の生活と関連させて考えることができるよう大変配慮されている。 ・「感染症の予防」のコラムとして、「マスクはなぜつける？」が掲載されており、結果的に新型コロナウイルス対策につながる喫緊の読み物となっている。 ・「教科書の使い方」が示しているページに二次元コードが掲載されており、生徒が家庭で学習を進めることができるよう十分配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・体育分野におけるスポーツとのかかわり方については、資料の「する・見る・支える・知る」という表記により、生徒が様々な立場からスポーツに関わるという学びができるよう十分配慮されている。 ・「クローズアップ」や「特集資料」の中で、各種競技で活躍したスポーツ選手のコメントなどを掲載することで、生徒がその生き方や考え方に触れ、理解しやすいよう十分配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・写真は、丸い縁取りがされ、見やすいように配慮されている。また、図表やグラフなども分かりやすく示され、その分量も適切である。 ・目次、索引は各学年で色分けされており、章ごとに同系色で見やすいよう配慮されている。 ・総ページ数は193ページで、重量424gである。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ（やってみよう）」「学習のまとめ」が位置付けられていることで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう十分配慮されている。 ・感染症の予防として、マスクの必要性に関する読み物が位置付けているところが特徴的である。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
保健体育	保健体育	学研教育みらい

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の技能実習で、「ポイントチェックシート」があり、生徒に確実な技能の習得ができるよう十分配慮されている。 ・「考える・調べる」では、仲間と意見を出し合ったり、自分の生活を振り返ったりすることで、生徒のより主体的・対話的な学びとなるよう十分配慮されている。 ・「まとめる・深める」では、日常生活を振り返りながら、自他の生き方を見つめ直すような記載がされ、生徒のより深い学びとなるよう十分配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」では、日常生活と結び付けた例などが示されており、生徒の主体的な学びにつながるよう十分配慮されている。 ・「コラム」や「情報サプリ」「探究」「リンク」の欄には、生徒が興味・関心をもつような内容が多く記載されており、家庭でも学びを広げたり深めたりできるよう十分配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・随所に「関連」の欄が位置付けられ、運動領域との関連だけではなく、他教科との関連についても掲載されており、教科横断的な学習に役立つ構成となっている。 ・スポーツと関わりのある文章や写真等が大変多く紹介されており、生徒が体力や技能の程度、性別や障がいの有無等に関わらず、運動に親しむための配慮が数多く見られる。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や挿絵、グラフなどが適量で、該当する注釈の近くに配置されていることで、非常に見やすい構成となっている。 ・使われている色合いや文字のフォントが見やすく、ユニバーサルデザインを意識したものとなっている。 ・総ページ数は192ページで、重量420gである。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」から「まとめる・深める」までの流れが一貫して位置付けられており、生徒が主体的・対話的で深い学びができるよう十分配慮されている。 ・「ポイントチェックシート」を掲載することで、生徒に心肺蘇生法の技能を定着させるよう十分配慮されている。 ・家庭学習で学びを深めたり、学びを広げたりするための学習コンテンツなどの紹介が数多くのページに掲載されており、生徒の主体的な家庭学習を促す構成となるよう十分配慮されている。

様式 2

教科
技術・家庭

種目
技術分野

発行者
東京書籍

調査項目	意見書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各学習内容（1～4編）の導入に、小学校や中学校他教科での学習内容（教科、該当学年や単元）との関連が明確に示され、学習のつながりや既習内容を想起できるように十分に配慮されている。 「テックラボ」のページがあり、作業内容や作業工程別に分類した解説やポイントが生徒目線からの写真や図で示され、技能の習得について十分に配慮されている。 各編の導入では見方・考え方を示し、問題解決に向けて見通しをもち、視点を明確にした学習ができるように工夫されている。また、記入式の問題解決カードや問題解決例を用いて、学習の進め方や学び方を明確に示し、問題解決的な学習に取り組むことができるように十分に配慮されている。 各編最終章では、問題解決の評価、改善・修正の方法が具体的に示され、社会とのつながりがより理解できるように配慮されている。 4編の後には、各内容のつながりのある例が掲載され、3年生での学習内容が統合的な問題解決となるように構成されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各節の導入では「考えてみよう」や「調べてみよう」等が掲載され、社会や生活との関わりを取り上げ、学習意欲の喚起や学習の意義を実感できるように配慮されている。 各作業工程の説明では、検査や修正の方法が掲載され、生徒が必要に応じて振り返ることができるように十分に配慮されている。 各編2章に示される問題解決のページでは、問題の発見から課題設定までを重視した構成がなされ、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 設計・製作を中心としたものづくりと「技術による問題解決」に取り組むことができるように、各内容で設計図等の図表や作品・実習例を挙げながら主体的・対話的で深い学びができるように十分に配慮されている。 「技術の匠」や技術者からのメッセージ、企業による産業技術の発展についての様々な取組の紹介が充実しており、キャリア教育、地域社会、企業等との連携に関わる学習ができるように配慮されている。 最新技術や技術の工夫の掲載がされ、学習に広がりや深まりができるように配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 見やすいフォントが使用されていることや、大きく鮮明なイラストを豊富に掲載することで、分かりやすく学習できるように十分に配慮されている。 巻末には索引と共に用語解説が掲載されており、調べたい用語をすぐに調べることができるように工夫されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な資料や丁寧なワークシート等、見通しをもって主体的に問題解決的な学習に取り組めるよう、十分に配慮されている。

様式 2

教 科 技術・家庭	種 目 技術分野	発行者 教育図書
--------------	-------------	-------------

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各学習内容（1～4編）の導入に、小学校や中学校の他教科との関連がリンクとして示され、学習のつながりを感じることができるように配慮されている。 ・別冊「技術ハンドブック」があり、作業内容や作業工程別に分類した解説や手順が写真や図で示され、基礎的・基本的な技能の習得ができるように配慮されている。 ・各編は、学習指導要領(1)(2)(3)に沿って構成されており、学習の流れにおいても「見つける」「学ぶ」「振り返る」のステップで統一され、学び方が定着するように工夫されている。 ・各編2章「学ぶ」において、各編の設計・計画を設け、学習の進め方や学び方を明確に示し、問題解決的な学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・各編のまとめでは、これまで学んだ技術のプラス面・マイナス面について考察できるようにしてあり、社会とのつながりを意識できるように配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各編の導入部分の「見つける」では、生徒が抱くと予想される疑問や関心についての内容が対話式で掲載され、学習意欲を喚起することができるように工夫されている。また、これにより学習の進め方が分かり、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・巻末にある各学習内容の計画表を活用して、生徒が教科書と同じステップで、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・設計・製作を中心としたものづくり等に取り組むことができるように、各内容で設計図、栽培計画、回路図等の図表や作品・実習例を挙げながら主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 ・伝統技術の継承や社会で活躍する技術者からのメッセージ、先輩の声を掲載し、キャリア教育、地域社会との連携に関わる学習ができるように配慮されている。 ・最新技術や産業技術の工夫について掲載されており、学習に興味をもったり広がりや深まりが生まれたりするように配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の色遣いやフォント、余白のバランス、図の見やすさなど、読みやすく学習を進めることができるように配慮されている。 ・別冊「技術ハンドブック」では、工具の写真や作業手順などが掲載されており、安全に加工や作業が進められるように工夫されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な実習例が多数掲載され、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得ができるよう、十分に配慮されている。

様式 2

教科
技術・家庭

種目
技術分野

発行者
開隆堂出版

調査項目	意見書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各学習内容（1～4編）の導入に、小学校や中学校の他教科での学習内容（教科、該当学年や単元）との関連が明確に示されており、学習のつながりや既習内容を想起できるように十分に配慮されている。 作業内容や作業工程別に分類した解説やポイントが写真や図で示され、技能の習得について配慮されている。 各編での問題解決的な学習の流れを中心として、共通の配列にすることで、学び方や学習の流れが明確になるように工夫されている。 各編最終章では、問題解決の評価と今後（未来）とのつながりについて話し合う内容が具体的に示され、社会とのつながりがより理解できるように配慮されている。 トレードオフマークの頁では検討する視点を示して解説がされており、活用する技術の最適化について学ぶことができるように工夫されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各節の導入では、「調べてみよう」や「考えてみよう」といった導入課題が設定されており、学習意欲の喚起と共に学習の見通しをもつことができるように工夫されている。 加工作業の説明として、動作のポイントだけでなく修正方法が掲載されており、技術を評価したり、主体的に活動したりできるように配慮されている。 各編の導入に、学習の流れが掲載されているため、生徒自らが見通しをもって学習を進めることができるように工夫されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 設計・製作を中心としたものづくりと「技術による問題解決」に取り組むことができるように、各内容で設計図等の図表や作品・実習例を挙げながら主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 「参考」「資料」で技術者からのメッセージや、地域社会に関わる内容等を挙げ、社会との連携に関わる学習ができるように工夫されている。 最新技術や技術の工夫についての興味や関心を抱くよう写真等が掲載され、身近な生活から学習が展開できるように配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 大きく見やすい図版やイラスト、見やすいフォントなどが使用されており、読みやすい配慮がされている。 各ページ右上部分が、各編で色分けがされているだけでなく、関連する工具や道具等を記載することで、知的好奇心を高めるように工夫がされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 設計図等の図表や作品・実習例が充実しており、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう十分に配慮されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
技術・家庭	家庭分野	東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校での学習を踏まえ、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで学習が進められる構成・配列となっている。実習や実践に必要な基礎技能をまとめた「いつも確かめよう」で、小学校での学習を確認しながら技能を確実に習得して学習を進められるよう十分に配慮されている。 ・ ガイダンスで、生活に係る「見方・考え方」について説明し、各編の導入で、関連する「見方・考え方」をキャラクターが示すことで、問題解決的学習の視点を与える工夫がされている。課題を解決する道筋として、課題発見、計画、実践、評価、改善、次の課題へとつなげる学び方の道筋を繰り返し行い、思考力・判断力・表現力を深める問題解決的な学習や体験的な学習を多く取り上げている。また、家庭分野でよく使う言葉を「言葉のページ」としてまとめたり、「学習のまとめ」に大切な用語を確認したりするなど、十分に配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各編の導入で、学習内容を象徴する生活場面を見開きの写真等で表し、生徒が、学習への期待や見通しのもてる内容となっている。各編の最後に「持続可能な社会を目指して」考える学習を位置付け、解決方法を主体的に考え、工夫することができるよう十分に配慮されている。また、巻末には切り取って保存できる防災・減災手帳を掲載し、学習したこと等を実際の生活の中で生かす工夫ができるよう十分に配慮されている。 ・ 「生活の課題と実践」について、実践の進め方や課題解決のための思考ツールについて丁寧に記述し、複合的な幅広い実践例を多く取り上げ、学びの進め方やまとめ方等、主体的に学習を進めるために活用できる。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末にコンテンツの一覧があり、動画コンテンツを活用した学習を効果的に進めることができる。実習などの基礎技能を、繰り返し動画で確認でき、他教科の内容にもリンクが可能である。 ・ 「蒸す」調理方法については、主菜としての参考例も示し、蒸し器がない場合についての説明も入れ、活用するための配慮がされている。「介護など高齢者との関わり方」については、高齢者の体の特徴を理解した上で、介助のみでなく、声を掛けたり視線を合わせたりすることなどの関わり方にも触れ、協働するための工夫について考えるという取り上げ方である。 ・ 「他教科」マークで関連を示し、どの編も家庭生活と関わりのある道徳との関連、さらに社会や理科、保健体育等、多様な視点から考えを深められるよう多く取り上げている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の重量やページ数は、持ちやすく適切な分量である。 ・ 大判の紙面を用い、実物大の鮮明な写真やデザイン等を豊富に掲載している。また、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを用い、目に優しい色質の紙やできるだけ多くの人に見分けやすい配色を用い、誰にとっても読みやすい配慮が十分にされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校家庭科との関連を図り、生活に係る「見方・考え方」を働かせ、課題発見、計画、実践、評価、改善、次の課題へと、課題を解決する道筋を繰り返し行い、問題解決的な学習や体験的な活動を多く取り入れている。その中で、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう十分に配慮されている。 ・ 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のために繰り返し見たり確認したりできる豊富な資料や実物大の写真、動画コンテンツ等、学習を進める工夫が丁寧にされ、主体的に学びを進められるよう十分に配慮している。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
技術・家庭	家庭分野	教育図書

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・実習や生活の中で必要な基礎技能をまとめて示し、技能を確実に習得することができるよう配慮されている。基礎技能を習得する題材から、問題解決的な題材へと系統性のある配列がされている。 ・巻頭で「問題の発見→課題設定→計画・実践→評価→改善→次の課題へ」の学習の流れを提示し、単位時間の学習の導入で、イラストの生活場面の吹き出しから、「見方・考え方」の視点を促し思考を深めるよう配慮されている。「やってみよう」で、ロールプレイングや考えてみようの話し合い活動、インタビューなどの学習活動を多様に位置付け、思考力・判断力・表現力を高める問題解決的な学習・体験的な学習を取り上げている。さらに、「学びを生かそう」で、学習したことをもとに自分の課題を設定し、考え工夫する学習の流れを例示し、課題解決のために活用できるよう配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の始めには、見開きで生徒の生活に沿った身近なイラストや写真を掲載して生徒の興味・関心を高め、教科書で「自立度チェック」を位置付けて、学習意欲を喚起し学習の見通しをもたせる工夫がある。また、クレジットカードやキャッシュレス化など、視覚的な資料でイメージしやすい身近な具体例を提示している。「消費生活・環境」では、今日的課題でもある「SDGs」を提示し、自分たちの消費や生活とのつながりを意識させる工夫がある。 ・「生活の課題と実践」では、それぞれの編に関わる実践例を具体的に記述し、主体的に問題解決的学習を進められるよう活用できる工夫がある。また、それぞれの学習のまとまりの終わりには、「ふり返る」において自己評価し、自分の学びについて直接記述でき、主体的な実践につながり工夫がある。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ページの右上に二次元コードがあり、基礎的な知識を補い、基礎的な技能の習得のために繰り返し見ることのできる動画を掲載し、活用できるよう工夫されている。 ・「蒸す」ことについては、主菜・副菜として実践例を示し、蒸し器の代わりに、フライパンを活用する実践例も挙げ、生徒が実践につながることができるようよく配慮されている。クレジットカードの三者間契約については、クレジットカードのキャラクターと中学生の対話をもとに短所や長所が分かりやすいようよく工夫された取り上げ方がされている。 ・「リンク」コーナーを設け、他教科や技術分野との関連を示し、考えを深め広げる内容を取り上げている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の重量やページ数は、適量で使いやすい。 ・大判の紙面を用いて、実物大の写真が掲載され、意欲的に学べるよう工夫されている。また、ユニバーサルデザインに配慮したフォント・字間・行間で、裏うつりのしない紙質の物を使用している。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に「自立度チェック」をすることで学習への関心や見通しをもって学習を進め、学習後には、「ふり返る」で知識・技能の習得の確認や自分の伸びが書き込めるように工夫されている。問題解決学習の一連の学習の流れを繰り返し行うことのできる構成・配列になっている。 ・ロールプレイングや考えてみようの話し合い活動、インタビューなどの多様な学習活動を位置付け、資料やイラスト、吹き出し等で、生徒の見方・考え方を広げ、思考力・判断力・表現力を高めたりする問題解決的な学習・体験的な学習を取り上げている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
技術・家庭	家庭分野	開隆堂出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の基礎技能や製作に必要な知識・技能を「製作の基礎・基本」としてまとめて示し、技能を確実に習得できるよう配慮されている。また、基礎技能を習得し、活用できるように簡単なものから難しいものへと配列されている。 ・ガイダンスで、生活の営みに係る視点として、「生活の見方・考え方」を提示し、そこから気付きが得られるよう配慮されている。「話し合ってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」など多様な方法で、生徒が主体的に学習に取り組み、「生活にいかそう」でさらに課題に取り組む中で、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の導入で、生徒に身近な実物大の写真等で興味・関心を高める工夫がされている。理解を深めるための科学的根拠を多く示し、理解を深めることにつなげている。生活の営みに係る「見方・考え方」の中の「持続可能な社会」にSDG sの視点を位置付け、各内容の最終ページでSDG sの目標と関連させて繰り返し考える部分を設けている。 ・「生活の課題と実践」では、課題を決めて、取組を進める流れを提示したり、具体的な実践の進め方やまとめ方が分かるように示したりして、学習を進めるために活用できるよう配慮してある。学習のまとめごとに設定されている「振り返り」「生活にいかそう」によって、自己評価できると共に、身に付いた知識及び技能を主体的に生活に生かすことができるよう配慮している。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ページの右下に二次元コードをあり、製作や調理方法を動画で見ることができる。また、利き手に対応した動画もあり、どの生徒にも十分に配慮している。 ・新設された「蒸す」調理については、副菜としての参考例を示し、蒸し器を使用する際の安全のために、水滴の防ぎ方の記述があり、活用できる工夫がある。「高齢者との関わり方」については、立ち上がりや歩行などの基礎的な介助の方法を取り上げ、体験的な活動を通して理解できるようにしている。 ・目につきやすい右側の上部に「他教科」マークを用い、他教科や他領域についての記述をし、持続可能な社会の視点を重視した、特に社会や理科の関わりを多く取り上げ、多様な考えを広げるための配慮が十分にされている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の重量やページ数は、持ちやすく適切な分量である。 ・大判の紙面を用い、実物大の写真やイラスト等を掲載している。調理実習例は、使用する材料について、アレルギー物質を含む食材に注意を促す表記がある。また、1つの単語が行をまたがらないように示してあり、どの生徒にも読みやすい配慮が十分にされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容において、家庭生活から地域社会、そして持続可能な社会へと系統的に構成され、将来にわたって自立した生活を営むことへの見通しをもたせるものになっている。各編の導入で、実物大の児童のより身近な写真等から、自分の興味・関心・疑問をもち、学習を進められる。 ・生活の営みに係る「生活の見方・考え方」を視点として提示し、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」「生活にいかそう」など多様な学び方やまとめ方で、生徒が主体的に学習に取り組み、思考力・判断力・表現力を高めることができるようよく配慮されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
外国語	英語	東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 目的・場面・状況を意識し、Preview で気付きを促し、4 技能 5 領域をバランスよく活用しながら知識・技能を習得することができる。Unit の学習で「何ができるようになったか」を確かめるために各学年 3 つ位置付いている Stage Activity では、複数の技能・領域を統合的に活用し、自己表現につなげることができる。それぞれの Stage Activity には重点となる 4 技能 5 領域が明確であり、3 年間の系統性や発展性を十分考慮した構成となっている。 Scene①②から Mini Activity の構成が示すように言語材料の知識と技能を基盤とし、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現できるように構成されている。各学年の Unit Activity や 2・3 年生の Read and Think では、英語で意思や情報を伝え合う活動や協働して問題解決に当たる活動が充実している。全国学力調査でも明らかになったように、自分の意見を考え、相手意識を明確にもち伝わるように的確に表現することが求められているため、例えば、3 年生の Let's Write2 や Unit4 の Unit Activity では、自分の意見とその理由を考え、表現したり、図やイラストの内容を的確に描写・表現したりする力を適切に育成することができる。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 地球市民としての心を育む、日本の伝統・文化を見つめる、異文化や国際社会について知る、今日的な課題に向き合うなど、生徒の知的好奇心を喚起する題材が系統性や発展性を考慮して取り上げられ、英語を学ぶことを通して、視野を広げ、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。 他教科で学んだことを英語の視点で学ぶコーナー Learning “...” in English が各学年に設けられ、主体的な学習を進めるために大変役立つ。また、「学び方コーナー」では英語学習のポイントやコツを 3 学年通して、系統的に取り上げ、生涯英語を学ぶ主体的な学習態度を育成することができる。さらに、学習者個人の学びに合わせた音声の再生や動画の視聴ができ、二次元コードをクリックするだけで、コンテンツが呼び出せ、家庭学習でも質の高い学びにつながる ICT 教育も大変充実している。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 学年から第 3 学年になるにつれて、生徒が関心のある事柄や生徒にとっての日常の話題につながりやすい題材から社会的な話題が段階的に取り上げられている。さらに時代を映した題材（ボランティア・AI・訪日外国人の増加など）や SDGs に関連した題材が切り口を変えながら、繰り返し取り上げられていることで、生徒が英語で理解したり表現したりできるよう十分に配慮されている。 入学から夏休み前までを小中接続期（Unit0~Unit5）とし、小学校で学んだ表現を使って「話す」活動を行うことができる。また、言語活動を行ってから、文法を整理する学習過程を仕組みやすい。さらに、全学年を通して、「小学校の単語」が適宜記載されていることで、生徒は小学校の学びを想起することができ、小中の接続が十分に配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 視認性や書きやすさに配慮されたユニバーサル書体が 1 年生の全体で使用されている。また、4 線に関しても第 2 線と第 3 線の幅が広くされていて、文字の習得に負担がないように十分配慮されている。 資料編として、記載してある Word List も A4 判サイズの教科書であるため、単語や意味などを表す文字も可能な限り大きく記載しており、生徒にとって学びやすいものになっている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 小中の連携が十分に配慮され、新学習指導要領が示す三つの資質・能力を十分に高められる内容になっている。 生徒が生き生きと言語活動に取り組み、自分の考えや気持ちを伝え合う力を養うことができる題材が取り上げられ、教師が教えやすく、生徒が学びやすい構成になっている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
外国語	英語	開隆堂出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材に何の活動を中心に行うかが明示されており、3年間で4技能5領域をバランス良く学ぶことができるよう配慮されている。Scenesでは、Speak & Writeが位置付けられており、簡単な英語でやりとりしたり、書いたりする活動を繰り返し練習できる工夫がある。Thinkの長文では、各ページに簡単なQ&Aが位置付けられており、斜め読みの基礎が身に付くよう配慮されている。 ・RetellからInteractの流れでは、基本的な知識・技能を生かして表現することが十分考慮されている。Power-Upでは、メニュー表や店内放送、電話のかけ方など、実践的な題材が扱われている。Our Projectが位置付けられており、複数単元の既習事項を生かした幅広い表現をするために大変有効である。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・Interactでは、即興でのやりとりができる場面が十分に確保されており、表現の幅を広げたり、自分の考えを伝えたりするために有効である。「夢の旅行」を企画してスピーチや有名人になりきって記者会見をするなどの題材があり、意欲を喚起するために有効である。 ・Scenesのモデル対話には、肯定文、否定文、疑問文が使われていることで、生徒の自然な会話を引き出すために大変有効である。 ・英語のしくみには、文法の解説に色がわかりやすく使われており、家庭での予習・復習が主体的にできるようになっている。本文の語句の音声デジタル機器で聞くことができるのは、家庭学習に有効である。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題、最先端技術、国際平和についてなど、グローバルな社会で生きていくために必要なテーマが扱われており、意欲的に取り組める題材が十分にある。 ・Get Readyでは、自己紹介やインタビューなどの話すことが主の活動として位置付けられており、小学校で学んだ表現をスムーズに使うことができるよう配慮されている。Tryには、小学校で学んだ表現を繰り返し練習できるように工夫がされている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵が随所に配置され、話の内容や語句の意味を想像するために効果的である。読みやすいフォントを使用したり、カラーも見やすいものにしたりと、ユニバーサルデザインへの配慮がある。 ・巻末資料にはScenesのまとめや動詞の活用表などが位置付けられており、基礎基本の定着を図るのに有効である。アクションカードに切り取り線がついており、繰り返し練習するための工夫がある。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・Scenes→Think→Retell→Interactの流れが明確になっており、基礎基本の定着から発展的な学習内容が意図的に構成されている。英語でのやりとりができる活動が豊富に位置付けられており、即興で英語を使えるようにするための工夫がある。 ・社会的な問題からスポーツやマンガなどの多くの生徒にとって興味をもちやすい題材が取り上げられ、どの生徒も意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
外国語	英語	三省堂

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> どの学年も Lesson で構成され、各 Lesson においては、GET の Drill / Listen / Talk & Write / Speak & Write、USE と段階的に 4 技能 5 領域の言語活動が設定されている。GET Plus においては、設定された場面における表現と言語の働きを学び、言語を使用する場面を意識し、活用する力を十分に養うことができる。また、Project を核にし、Take Action! の Listen / Talk、Reading for Fun / Information が設定され、領域統合的な活動が仕組める構成・配列になっている。さらに、Use や Take Action! においては学年が進むにつれて質の高い活動が適切に配置されている。 思考力・判断力・表現力を育成するために、技能（領域）統合的な活動である Project が 2～3 の複数 Lesson 後に位置付いている。Lesson で身に付けた力を活用し、生徒が「英語で何ができるようになったか」を実感できるように十分に配慮されている。また、想像力をかきたてるテーマやトピックが設定されており、思考力・判断力・表現力の育成のために大変有効である。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の知的発達段階に配慮がされており、身近で関心がある日常的なもの（学校・家庭・地域）から、社会的な話題（環境・人権問題・平和教育）まで、生徒の興味・関心を揺さぶり、さらに将来の予測不可能な社会において生きる人として、グローバルな視野で考えたい題材が取り上げられている。また、それらは他教科で学んだ内容と関連しており、学習の意義を実感するために有効である。 For Self-study では、家庭学習との接続を意識し、学び方が整理されている。自ら学び、思考を広げ、学びを深めるためのポイントが発達段階に応じて、整理されている。また、授業や家庭においても自律的に表現力を養うために、付録に「いろいろな単語」がカテゴリ一別に記載され、「言いたいけど言えない」をサポートしている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、学び、言葉、日本文化、異文化理解、自然理解、社会理解、人間理解などの話題が配置され、生徒一人一人の個性や知的な好奇心に十分対応できるよう組織的に配列されている。また、生徒が題材を通して自分と向き合ったり、自分の可能性を広げたりするために、心に響く多様な題材（SDGs など）を選定・配置してある。 小中連携においては、1 年生の Hello, Everyone! や Starter で、小学校での学び（聞くこと・話すこと）を受け、目的・場面・状況に応じて、自分のこと・日常に関する身近なことを聞き取ったり、話したりする活動が位置付けられ、Lesson1~3 においては、聞くこと・話すことから導入し、言語活動を通して、文法事項や文構造などへの気付きを促す丁寧な指導ができるようになっている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> Reading for information においては、生きて働く知識・技能の習得を図るため、現実の場面に近い広告やパンフレットを想起させる素材が用いられている。ユニバーサルデザインに十分配慮されており、どの生徒にとっても学びやすいものになっている。 英文の場面設定を補足するための挿絵や本文の内容理解を補助する写真や図版が豊富に配置されている。また、Word Bank も赤枠で記され、生徒が言語活動中に「知りたい」と思える語を精選して記載されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 「基礎的・基本的な知識・技能を習得する」「知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を養う」等、教科書の各ページの役割が明確で、教師側は教えやすく、生徒側は見通しをもち、学びやすい。 予測不可能な今後の社会を生きる生徒が、社会に出て考えていかなければいけない題材や生徒の知的な好奇心を揺さぶる題材が取り上げられ、英語を通して豊かな人間性を育成することができる。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
外国語	英語	教育出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各 Lesson の Part1、2 では、短めの本文を扱い、「聞く」、「書く」活動を通して基礎基本の定着を図り、Part3 では、やや長めの本文を「読む」活動を通して内容理解や実践的な活動でまとめるなど、4 技能 5 領域を総合的に学ぶことができる構成である。単位時間の最後には Think and Try が位置付けられ、「英語の見方・考え方」を働かせながら知識技能を養うのに有効である。 学期末には、複数の単元で学んだことを生かした Project が位置付けられ、メモやマッピングをもとに自分の考えをまとめ、発表したり話し合ったりする活動を通して、仲間と協力して問題解決に向かう素材が充実している。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や家庭学習などの身近な内容から、異文化理解、環境、福祉など幅広い題材を取り上げており、他教科で学んだ内容とも関連付けることで学習意欲を十分に喚起できる。また 3 年生の仮定法過去の学習では、思春期の悩みや課題と重ね合わせる内容によって、生徒自身が自己理解を深め、問題解決に向かえるように十分配慮されている。 各単元の最後にある Review では、授業で学んだことをまとめる部分が位置付いており、文法だけではなく題材についても復習することができる。また、巻末には「赤シート」で答えを隠して表現や語句変化を覚えるページや、段階に応じて即興的に自分の考えを英語で表現する練習ページがあり、家庭で補充的な活動や繰り返し練習できる工夫がよくされている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 3 学年を通して、環境、福祉、国際平和などの社会的な題材が充実している。3 年生の Lesson 6 では、これから生徒が直面する働く事の意味を考えたり、2 年生では、福祉や環境と海外問題を結び付けたりし、社会的な課題から自分を見つめることができる構成となっている。 1 年生の Springboard から始まる見開きで、イラストを使ったリスニングやゲームに取り組むことで、小学校で慣れ親しんだ表現を楽しく、効果的に復習することができる。また、Lesson1～3 は、小学校で行われてきた音声中心の活動が多く設定され、実体験しながらスムーズな小中の連携が配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 余裕のある行間や余白の確保がされている。ローマン体とブロック体の書体を各場面に応じてよく使い分けている。色の識別がしやすい工夫や、日本語でも「ユニバーサルデザイン書体」を用いてすべての生徒にとって見やすく、読みやすく、学習しやすい工夫が見られる。 学び方が分かりやすくシンプルな構成である。付録 Activities Plus は Small Talk で活用できるような内容で、家庭学習でも授業でも使いやすい資料である。どの学年も巻末には、即興性のやりとりのためのカードなどがあり、活動の幅を広げるために有効である。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 3 学年を通して、4 技能 5 領域を習得するための手立てや具体例が系統的に示され、その段階に応じて生徒自身が自分で考え、発信する力の基礎を養うことができる。 地球や人々の今とこれからの考える SDGs の題材が充実しており、生徒が世界の多様な在り方や課題に興味をもち、自分と社会を結び付けて主体的に学習に取り組むための配慮がされている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
外国語	英語	光村図書

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 場面や目的を中心に言語活動が仕組まれており、第1学年の自己紹介で動名詞や不定詞(名詞的用法)を扱うが、第2学年でも動名詞と不定詞を確認するなど、複数の Unit で目的に応じた表現を適切に身に付けることができる。各単元では、絵や写真を見て内容を推測した後 Listen→Watch で単元全文を聞いたり映像を見たりする活動が位置付いており、単元全体の見直しをもって学習に取りかかることができるようよく工夫されている。全単元において4技能5領域をバランスよく用いた出口の活動が適切に位置付けられ、学習した内容の定着を図ることができる。 You Can Do It!には、共通点・相違点を見つける活動や職業診断チャートづくり、学校に必要なものについてのディベートなどの活動が位置付けられており、他者との比較や協働を通して、より実践的に思考力や判断力を育むことができるようによく配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の Let's Read では、情報を読み取るためにクイズ形式で読み物教材を提示したり、2年生では防災バック作り、第3学年では絵や写真に適切なせりふを考えたりする活動など、生徒の意欲を喚起する活動内容が大変豊富である。さらに Goal では、Can Do List に照らし合わせた振り返りができ、生徒自身が理解を確認するために大いに役立つ。 各パートには、音と文字を確かめる、答えを探す、音読するという3つのステップで学習を進めるためのチェックリストがあり、家庭で学習する手順の一助となる。Active Grammar では、言語材料を整理し、主語や動詞を3学年統一した色や形を用いて提示することで文の構成を理解しやすくしており、家庭学習に役立つように配慮されている。また、二次元コードを用いて、映像や音声で学習内容を確認することができる。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 特に第3学年では、ピースボランティアや当時中学3年生河本幸代さんの日記を記した読み物教材を通しての広島での平和学習、AI やプラスチックごみについての意見交流など、社会的な話題を身近なものとして捉え、様々な視点から自分の生き方を見つめることができる内容となっている。 第1学年では、20 ページにわたって小学校で学習した単語や表現を整理して復習することができる。Unit1～3 にかけて、音声を中心とした学習になっており、マンガの構成にすることで理解を促し、文章を読む生徒の負担を減らしている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年本文の書体には、ブロック体を用いており、正しい表記を身に付けることができるように配慮されている。3学年を通して本文の絵には淡い色合いが使用され、文字に注目させる工夫がされている。また、帯活動で使用する教材は短い寸法のページになっており、短時間で学習準備ができる。 巻末の帯教材では、This is Me, My Life, My Future の3つの題材をもとに、帯活動として即興でやり取りができるようなトピックを提示している。学年が上がるごとに内容を詳しく伝える表現が加わったり、考えを求める質問があったりと、既習表現を確認しながら表現の幅を広げると共に、発展的な学習ができるように工夫されている。全学年に Classroom English が位置付けられており、ステップアップしていくモデル表現を使用することを通じて、学年に応じた適切な表現を身に付けることができるように配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 3学年を通して、中学校生活を題材にした身近なストーリーで構成される中で、言語の使用場面に応じて具体的な言語の働きを明確にしており、主体的に学習に取り組みながら言語運用能力を高めることができる創意工夫がされている。 単元の学習や言語活動に多くの Listening 教材が組み込まれており、学習過程において英語環境を作り上げる一助となる。また、各パートで4技能5領域を配置し、単元のまとめや学期末にそれらを総合的に発揮できる活動が適切に位置付けられている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
外国語	英語	啓林館

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の Part が Get Ready、 Practice、 Use の流れで構成されている。Get Ready では、基本的な表現を理解するために「読む」「聞く」活動が位置付けられており、Practice や Use では、「話す」「書く」活動が位置付けられており学習内容を定着させ、活用できるようにするような構成の工夫がされている。また、Practice や Use では、「話す（やり取り）」「話す（発表）」を単元の中で偏りなく位置付けることで、毎単元ごとに 4 技能 5 領域をバランスよく育成できるような工夫がある。 ・複数の単元で身に付けた力を統合的に活用したインタビューや何かを紹介する活動ができるように、各学年で Project が数回設定されており、生徒の表現力を豊かにするために有効である。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 学年では、日本やアメリカの文化を題材にし、学校などの身近な場面を設定することで生徒が親しみやすいようによく工夫されている。第 2、3 学年では、20 以上の国や地域の文化や自然などが題材として扱われており、生徒が興味をもって学んでいけるようによく工夫がされている。 ・Target では、生徒が家庭学習でも文法のポイントを抑えられるように日本語での詳しい解説を位置付け、生徒が自力で学び、定着を図れるように工夫されている。また、Target のまとめのページを位置付け、生徒が簡単に既習内容を振り返られるように工夫されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で環境、福祉、国際平和といった社会的な題材が提示されている。Part1、2、3 を通して題材に少しずつ触れていき、Read & Think で中心となる題材について深く触れていけるような構成がされている。Unit を通しての学びを生徒が発表する活動が位置付けられており、生徒自身の生活を振り返ることができるように工夫されている。また、More Information として他の国や地域の取組を紹介し、生徒の今後の学びにも繋げられるように配慮されている。 ・第 1 学年の導入期では、小学校で学んできた「話す」「読む」「聞く」「書く」が振り返られるように Let's Start が位置付けられている。小学校英語で行った言語活動を設定するなど、小学校とのつながりを意識した導入になっている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 学年の教科書では、多くの生徒が認識しやすいようにフォントが工夫されている。どの Unit においても、資料となる写真を豊富に使用しており、見やすく配慮されている。 ・巻末付録の Word Box では、生徒が様々な活動で活用すると思われる多くの表現や言語材料が項目ごとにまとめて紹介されており、様々な活動において生徒が自ら調べ、活用しやすいように工夫されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年でも各単元の中に 4 技能 5 領域がバランスよく育成できるような構成がされている。単元のまとめで Read & Think、や Express Yourself を位置付け、4 技能 5 領域を総合的に用いる学習ができ、どの生徒も技能が身につくような工夫がされている。 ・身近な話題だけでなく多くの国や地域の文化などを題材とすることで、生徒の興味関心を高め、多くの生徒が意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
道 徳	道 徳	東 京 書 籍

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で重点項目を設け、複数時間をかけて学習できるように構成されている。「いじめ問題」「生命尊重」については、特に集中して学習に取り組めるように考えられている。 ・全教材に「つぶやき」コーナーを設置し、教材を読みながら考えたことや思ったことを書き込めるようにし、話し合いの際に材料にすることができるようにしている。また自分の考えを書く欄を18教材（1年生8、2・3年生各5）に設置し、言語活動が充実するよう工夫されている。 ・全教材の冒頭にテーマを設定し、導入で内容項目に関わるテーマを提示してから教材に入ることによって自我関与できるよう工夫されている。また全学年で1テーマずつ問題解決的な学習の教材、2つずつ体験的な学習の教材が「アクション」として示され、道徳的価値について考えることができるようよく工夫されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」について全学年で4～5月に3教材のユニット形式「いじめのない世界へ」を配置し、いじめ問題について多面的・多角的に考えることができるようよく工夫されている。「生命尊重」についても全学年で9月に3教材のユニット形式「いのちを考える」を配置し、生命の尊さについてじっくり考えることができるようよく工夫されている。 ・Dマークがついている教材（1年生9、2・3年生各8）にはデジタルコンテンツが用意されている。教科書裏表紙の二次元コードを読み取り、各コンテンツにアクセスできるように工夫されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに関連する教科マークが教材冒頭に示されている。多数の教材で、各教科との関連が図られている。 ・郷土の伝統に触れ、ふるさとの良さに気づくことのできる教材が取り上げられている（1年生4、2年生2、3年生1）。1年生では岐阜県原村が取り上げられ、ふるさと岐阜へ愛着をもつことができる。 ・各学年の付録として「郷土のことを考える」ページがあり、47都道府県が3学年に分けて紹介されており、各都道府県への理解を深める工夫がされている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生189ページ、400g 2年生197ページ、410g 3年生197ページ、410g。 ・設問などは文節の区切りで改行し、読みやすくなっている。本文に5行ごとに行番号がつけられ、教材の内容が指示しやすくなるようよく配慮されている。また学習指導要領の4つの視点のマークが色とデザインで示され、わかりやすくする工夫がされている。 ・ゆとりあるワイドなA B版で写真が大きく掲載され、大自然の迫力などが伝わりやすい工夫がある。1ページは23行で見やすい紙面である。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・学年で重点項目を設け、多様な教材に触れることで、いじめ問題や生命尊重など、現代的な課題について深く考えることができるようよく配慮されている。 ・教材ごとにテーマを設定し、問題を提起することで自我関与できるよう工夫されている。また、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、多面的・多角的に考えを深めることができるようよく配慮されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
道 徳	道 徳	教 育 出 版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の学習の流れが分かりやすく、特に「いじめ」や「生命の尊さ」に関する教材は複数掲載されており、学びの積み重ねができる。 教材の終末に「学びの道しるべ」が設けてあり、何をどのように考え、話し合っていくのかを示してあるため、学習の流れを掴みやすくなっている。また、付属のデジタルデータの中には教材ごとのワークシートがついている。 問題解決的な学習、体験的な学習ができるよう、教材の要所において「やってみよう」のコーナーが位置付けられている。誠実に行動し、自らの行動に責任をもつことについて考える手立ての一つとなっている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 全学年でいじめや生命倫理、情報モラル、社会参画など、幅広い内容で学べるように考えられている。また、各教科との関連も示されており、連携を図ることができる。 1時間ごとの道徳の学びを一行ごとに記録できるページがあり、4つの視点で振り返ることができるようになっている。また、教科書の最終のページには家の人からコメントをもらう欄もあり、道徳の学習と家庭を繋ぐことができる。 授業の導入で使える動画などのデジタルデータが位置付けられている。また、ワークシートには教師や保護者などがコメントを返せる欄が設定されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 学年ごとの教材一覧で、作品名や内容項目と共に他教科との関連を一目で確認することができる。 岐阜県の人物や事柄を扱った教材は2点記載されている。 （「六千人の命のビザ」「怒りの救助活動」） 各学年の巻末資料では、岐阜県にゆかりのある著名人の言葉が掲載されている。[池井戸潤（小説家）、日比野克彦（美術家）、高橋尚子（マラソン選手）]
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 1年生…208ページ、386g 2年生…192ページ、359g 3年生…192ページ、358g 4つの視点が分かるように、目次や教材のページに視点ごとに共通の色を使っている。 カラーユニバーサルデザインの審査を受けており、認証マークを取得している。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通して系統的に教材が配置されており、特に「いじめ」や「生命の尊さ」に関する項目は、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。学年ごとに見ても、一年間の学習の流れが見やすく示され、季節や行事に合わせて学習を進めることができるよう工夫されている。 授業の主題やねらいに応じて、多様な指導方法を効果的に取り入れやすい資料が掲載されている。いじめや情報モラルなど、現代的な課題を考えていく教材も充実しており、生徒間の議論を引き出す工夫がなされている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
道 徳	道 徳	光 村 図 書

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で年間を3つの「シーズン」に区切り、生徒の発達段階と学校生活を踏まえて配列されている。学校の教育目標に照らして並べ替えたり、教科書以外の教材と入れ替えたりすることも可能で、適切な配列である。 ・自分の考えを書く欄が、1年（4）・2年（6）・3年（3）ある。巻末に「学びの記録」が「シーズン」ごとに3枚に分けてある。 ・全ての読み物教材に「考えよう」が設けてあり、登場人物に自我関与を促す発問がある。全学年で身近な場面の問題解決的な学習対応教材を、適切に配置している。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」と「生命尊重」について、全学年でユニット形式を2回以上配置し、年間を通して繰り返し学ぶことができる。 ・学級の間関係が形成される5～6月に「いじめを許さない心について考える」があり、教材1→「深めタイム」→教材2とじっくりと向き合うことができるように十分配慮されている。 ・教材冒頭に二次元コードのデジタルコンテンツがある。巻末のふり返り欄に自由スペースがあり、保護者の記入欄が設けてある。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・資料と「現代的な課題等との関連」や「他教科・領域との関わり」を巻末に一覧にしている。 ・「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材が各学年にあり、2年生では岐阜県を題材にした、「白川郷・五箇山の合掌造り」が取り上げられている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 1年生：184ページ 2年生：192ページ 3年生：192ページ ・重さ 1年生：332g 2年生：345g 3年生：349g ・印刷は鮮明で、視認性が高い。UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインへの配慮がよくされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめを許さない心について考える」というユニットを各学年に位置付け、3年間を見通した系統的な構成になっている。また、関連性の深い内容項目が有機的に結びつくような配列になるように工夫がなされている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、「深めタイム」が配列されており、3年間を通してじっくりと考えられるように配慮されている。 ・代表的な小学校の教材を取り上げ、小学校からの自分の成長にふれることができる。

様式2

教 科	種 目	発 行 者
道 徳	道 徳	日 本 文 教 出 版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各学年ともに、いじめが起きやすい時期に指導ができるよう「いじめ教材・コラム」を数か所に分散させて位置付けられているなど、生徒の発達段階や学校行事などを踏まえて、各教材が適切に配列されている。 生徒にとって身近な内容教材が多く掲載されているとともに、教材ごとに「考えてみよう」「自分にプラス1」の発問例が設定されていることにより、登場人物に自我関与を深めながら、考え、議論する授業が促進されるよう、よく配慮されている。 「学習の進め方」により、問題解決的な学習教材では話し合い方、体験的な学習教材では役割演技の仕方などが、それぞれ写真や解説文を用いて具体的かつ分かりやすく、適切に示されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> いじめ教材の前後に生命尊重の教材を位置付けたり、ユニット構成された「いじめと向き合う」の補充教材としてロールプレイングを位置付けたりするなど、いじめについて、体験を通してより深く考えさせることができる配列工夫が十分されている。 コラム「プラットホーム」において、「接客の仕方」「家族との話し合い」「自助や共助による減災」「地域安全」など家庭や地域における実践の促しが各学年に配列されており、学習内容が家庭や地域における実践に繋がるよう、よく配慮されている。 道徳ノートの各学期末のページには保護者記入欄があり、子どもの学びや成長が保護者にも確認でき、家庭との連携が図られるよう配慮されている。 ウェブサイトにも関連資料が掲載されており、自宅においても主体的に学ぶことができるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 内容項目別教材一覧では、教材と教科との関連が示されている。 受け継がれる文化「郡上踊り」、誇りある生き方「杉原千畝」が位置付けられており、ふるさと岐阜や地域の誇りと愛着をもつことができるよう十分配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 1年生191ページ、430g 2年生191ページ、435g 3年生191ページ、440g 別冊「道徳ノート」がブックインブック形式で一体化することができる。 文字の大きさ、フォント、レイアウト、配色、文字囲み、振り仮名、主人公の表示などユニバーサルデザインに十分配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 道徳科での学び方や学習の進め方が写真で分かり易く示されていたり適切な発問が提示されていたりするなど、考え議論する道徳実践への配慮が十分である。 現代的な課題「いじめ」「生命尊重」に関する教材がユニット化され、適切な時期に繰り返し学習することができるよう配列されている。 別冊の道徳ノートは、自分の考えと友達のことを比較しながら、心の成長を記録したり、学びを振り返ったりするのに適切である。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
道 徳	道 徳	学研教育みらい

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の生徒の発達段階や特性に応じつつ、全学年で「命の教育」を重点テーマとし、「生命尊重」や「いのちの大切さ」を学ぶことができるように、十分に工夫して教材が構成されている。 教科書の巻頭に「考えを深めるための4つのステップ」を位置付け、単位時間の中で、「見つける」「考える」「話し合う」「生き方につなげる」という、「考え・議論する道徳」の学習の流れを示している。また、この4つのステップは、「深めよう」というページとも関連しており、問題解決的な学習や、体験的な学習へつなげることができるように内容が考えられている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 全学年に共通して、特設ページ「クローズアッププラス」でいじめ防止や生命尊重につなげ、メンタルトレーニングやアンガーマネジメント、自己肯定感を育む活動も配置している。 「キャリア教育」「SDGs 持続可能な開発目標」「情報モラル」などについても特集を配置するなど、全学年で積極的に現代的な課題に対応している。 デジタルコンテンツについては、教科書の目次左下に学研教科書サイトに繋がる二次元コードがあり、画像や動画が掲載されており、授業展開において活用することができる。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各教科での道徳性の育成につながる教材が各学年で配置されており、画像資料も豊富で、他教科との関連が図られている。 我が国と郷土の伝統文化に触れる機会を多様に用意しており、各学年2時間ずつ位置付けられている。特に、ふるさと岐阜に関する資料として、3年生に「白川郷に魅せられて」や「杉原千畝の選択」などの3教材を設定している。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 1年生…186ページ、356g 2年生…198ページ、378g 3年生…198ページ、377g 生徒の発達段階に応じ、文字の大きさ、字体、行間に配慮し、UD書体を用いて作成されている。印刷は鮮明で、全ページカラー刷りで、色彩は目にやさしく仕上がっている。 目次には4つの視点別に資料を色分けしているため、教材へ向き合いやすく構成されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 全学年共通して「生命尊重」や「いのちの大切さ」を学ぶことができるように、生徒の発達段階や特性に応じて、指導内容の重点化や学年間のつながりを十分に工夫して教材が構成されている。 いじめ問題に限らず、今日的な課題である持続可能な開発目標やキャリア教育など、全学年で同テーマの教材を配列し、複数の教材を関連させて、多面的・多角的に考える授業を展開できるよう工夫されている。 各学年に、他教科での道徳性の育成につながる教材が配置されており、デジタルコンテンツを利用した画像資料も豊富で、他教科、地域社会、家庭との関連が図られている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
道 徳	道 徳	廣 濟 堂 あ か つ き

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で年間3時間を配当する重点項目として「自主、自立、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」を取り上げている。これは「生命尊重」「いじめ防止・人権尊重」に特に深く関わっているものである。 ・「道徳ノート」を使うことで考えたことや感じたことを記録に残し、成長を実感できるようにしてある。 ・具体的な道徳的行為の場面を想起させる問いや役割演技を促す活動を、教材の後の「考える、話し合う」に設け、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止と関わりの深い内容項目「公正、公平、社会正義」「友情、信頼」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」の教材を配列し、さまざまな道徳的価値の理解を深めることを通していじめ防止につながるようにしている。「生命の尊さ」に関する教材を全学年3教材、3時間配当している。 ・教材名の下に「インターネット」のマークのあるものは、目次の二次元コードから関わりのある情報を見ることができる。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最後のページに「内容一覧」を載せ、他教科との関連を示している。多数の教材で他教科との関連が図られている。 ・国や郷土の伝統と文化への関心を深めることができるよう、地域社会に関わりのある教材が各学年1つずつ取り入れられている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生180ページ、508g（ノートなし380g）、2年生164ページ、472g（ノートなし355g）、3年生160ページ、465g。（ノートなし348g） ・ゆとりあるワイドなAB版。学年の発達段階を考慮して、1年生は1ページ21行で本文の文字を大きくする工夫がされている。2年生は24行、3年生は26行。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で共通した重点項目を位置付け、繰り返し学習することで、生徒がいじめを許さないこと等、現代的な課題について多面的・多角的に考えられるように配慮されている。 ・問題解決的な学習や体験的な学習などを通して、自分と向き合い、自分や仲間の考えを記録しながら考えを深めることができるよう配慮されている。